



静岡県自然薯品評会  
じねんじよ  
最高賞を受賞!

今回もおいしい自然薯ができました



農家

山ちゃん農園  
山下 信郎 さん

約20年前から自然薯栽培  
じねんじよ  
を始める

令和7年12月11日(木)に「第38回静岡県自然薯品評会」(主催:静岡県自然薯研究会)が開催され、県内各地から37点の出品がありました。

審査の結果、本町から出品した山下信郎さんが一等一席の静岡県知事賞を受賞しました。山下さんの自然薯は、外観・灰汁・香り・粘度・食味の全ての項目で最高点を獲得しました。山下さんの県知事賞受賞は今回で4回目。山下さんから自然薯栽培への思いを伺いました。

おいしい自然薯を作るために

この町の気候や土壌が自然薯栽培にとっても適しています。ただ、昨年は全国的に雨が少なく、生育が難しい年でした。だからこそ、葉の一枚一枚までじっくり観察して生育状況を把握し、必要な対策を講じました。その積み重ねがよい自然薯を生んだのだと思います。



授与されたトロフィーと賞状

みんなに喜んでもらいたい

毎年、重機で畑の表層の土と、その下の深層の土を入れ替える「天地返し」を行い、さらに土壌消毒も欠かさず実施しています。手間も費用もかかる作業ですが、食べてくれた人が「おいしい」と笑顔になる姿を思い浮かべながら栽培に取り組んでいます。

若い人たちの力が必要

川根本町の自然薯はおいしくて評判がいいので、今後はもっと多くの人に本町の自然薯を知ってもらいたいです。そのために若い人たちにも栽培に挑戦してもらい、次の世代へと引き継いでいきたいです。

静岡県自然薯品評会

自然薯の品質向上や生産拡大を目的に毎年開催されており、外観・灰汁・香り・粘度・食味の総合点で審査される。



とろろ汁定食

山下さんの自然薯は「和彩食堂あけぼの」で味わうことができます